



TOKYO PACK 2026 包装力向上セミナー講演のご案内

日本包装専士会 未来包装研究委員会が、東京ビッグサイトで2026年10月14日(水)より16日(金)まで開催する「TOKYO PACK 2026」の「包装力向上セミナー」に参加します。

お笑い芸人・ごみ研究家の滝沢秀一氏やZ世代の皆さんとのコラボセミナーを開催します。
皆様のご参加をお待ち申し上げます。

2026年10月16日(金) 10:30~12:00 東8ホールA会場

【テーマ】学生と専門家で描くパッケージの未来～現場体験(コトマエ)から考える包装の役割～

講師：  マシガンズ 滝沢秀一氏
環境省「サステナビリティ広報大使」・お笑い芸人・ごみ研究家
 稲葉 睦太氏
国立研究開発法人国立環境研究所 資源循環領域 資源循環社会システム研究室
 島田 賢一氏
日本包装専士会 未来包装研究委員会 (三菱商事パッケージング株)
 橋本 香奈氏
日本包装専士会 未来包装研究委員会 (缶詰技術研究会)
日本女子大学 食科学部食科学科 食品学・食品包装学研究室®
東京農工大学 プラごみ減らし隊
東京大学 GX学生ネットワーク

日本包装専士会 未来包装研究委員会では、利便性や保護・保存性、情報伝達性、経済性、そして環境適応性がバランスよく調和した「持続可能なパッケージ」のあり方を追求してきました。

近年、環境配慮への要請が高まる一方で、言葉だけが先行する環境論は、時に生活者の気持ちを遠ざけてしまうことがあります。「包装のない世界」では健やかな暮らしが成り立たず、デザインや色彩のないパッケージでは日々の買い物から楽しさが失われてしまいます。わたくしたちは今こそ、パッケージが本来持っている「暮らしを守り、彩りを添える」という大切な価値を見つめ直し、使い終わった後も「ごみ」ではなく次の「資源」へと進んでバトンを繋ぎたくなるような、愛着や役割を伝えていくことが求められています。同時に、排出したものが確実に資源として生まれ変わるよう、包装産業自らが主体性を持って素材や設計の工夫を重ねていくことも、未来に向けた大切なステップです。

4回目となる今回は、マシガンズの滝沢秀一氏や国立環境研究所の専門家と共に、学生と包装専門家 が事前にプラスチック選別の現場を視察する「コトマエ企画」を実施しました。このリアルな体験を当日のディスカッションの軸に据え、表面的な理想論にとどまらない、生活者と包装業界が共に歩むための未来志向の対話の場を創出し、パッケージの価値を伝えることと、業界自らが『資源』へと変わっていくための歩み寄り方を共に探ります。

お申込みはQRコードまたはTOKYO PACK 2026 ホームページ
(<https://www.tokyo-pack.jp/event/13994>) よりお願いいたします。

